

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

（一）般▽天皇と葬儀 日本人の死生観（井上亮）▽山本周五郎長編小説全集（全26巻）第13巻（五瓣の椿・山彦乙女）第14巻（楽天旅日記・花も刀も）▽イノセント・ブルー（神永学）▽友罪（葉丸岳）▽正義のセー（阿川佐和子）▽結婚（井上荒野）▽君のいた日々（藤野千夜）▽月日の残像（山田太一）▽月光の誘惑（赤川次郎）▽首折り男のための協奏曲（伊坂幸太郎）▽アクティブ・メジャー（今野敏）▽髪結伊三次捕物余話（明日のことは知らず）（宇江佐真理）▽その峰

のかなた（笹本稜平）▽山桜記（葉室麟）▽え！なんでまた？（官藤官九郎）▽ちいさいおうち（中島京子）▽おもかげ橋（葉室麟）▽昭和の犬（姫野カオルコ）▽リアスの子（熊谷達也）▽ミストレス（篠田節子）▽平成おんな探偵の事件簿 ライオンの住む町（東川敦哉）
（児童書）▽てつぞうはね（ミロコマチコ）▽おとうさんもういつかいシリーズ3冊（はたこうしろう）▽おくい、雲よ（長倉洋海）▽ローズの小さな図書館（キンバリー・ウィリス・ホルト）▽海のむこう（松成真理子）▽どんぐりカプセル（市川宣子／松成真理子）▽よかたい先生（三枝三七子）▽ひみつの川（マーゴリー・キナン・ローケリン

グズ／レオ・＆ダイアン・ディロン）▽まいごのどんぐり（松成真理子）▽かいけつゾロリのまほうのランプクツ（原ゆたか）▽ズッコケ中年三人組 age 48（那須正幹）

■みずうみ読書の家

（一）般▽てのひらの父（大沼紀子）▽髪結（佐伯屋泰英）▽憎むのでもなく、許すのでもなく（ボリス・ジュリック）▽神様のホテル（ビクトリア・スウィート）▽青玉の笛（澤田ふじ子）▽まめの上で眠る（湊かなえ）▽霧雨（葉室麟）▽首折り男のための協奏曲（井坂幸太郎）▽不祥事（池井戸潤）▽羞恥（今野敏）▽自由への長い道（ネルソン・マンデラ）

●ピノキオ読み聞かせの会

日 時 7月23日 14時30分

場 所 あぶた読書の家

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●6月休館日

12日・19日・26日・7月3日・10日

（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた読書の家 ☎76・2100
みずうみ読書の家 ☎75・4702

今月の1冊



夜の神話

作 たつみや章

今回は中学年から大人までの本を選んでみました。

2011の東日本大震災よりも、もっと前に書かれた本ですが、このことを、予言していたかのような本です。原子力発電所の事故という問題に真正面から取り組んだ作品です。自然のすばらしさ、怖さ、人間の作り出す物のあいまいさを、美しいファンタジーの中に描いています。



わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

五月定例会

やはらかな日ざしに目ざむか庭さきの

かしこに出会ふ小さな春に

春うららほがらほがらと雑草さえも

息吹の中に身をつつみにし

冬枯れの庭に春風吹きくれば

水仙咲きて黄色まぶしき

右足の一步が出ないもどかしさも

二本のポールで楽々あゆむ

川べりで助六寿司をつまみつつ

娘の肩越しの桜みとるる

俳句

【あぶた俳句会】

五月定例会

火の山を借景として嘔れり

薫風や試歩の首すじなでて行く

往く人の笑顔笑顔や鯉のぼり

遠岬髪薫風に梳かせをり

山里の廢屋点し花辛夷



矢野知子	三瓶修	那須伶子	菅原敏子	小笠原勇
------	-----	------	------	------